

憲法を起草する会 令和3年4月17日



■ 荒谷さん講話

- ニューワールドオーダーは、ルールメイキングをすべく動いている
- ⇒ルールを変えると勝敗が変わる
- ⇒戦後の日本と戦前の日本が変わったのは、ルール《憲法》が変わったから

我々のルールを我々のルールでつくる事が大切

- 憲法の秩序の中で、憲法を変えるはとても大変（現在の憲法は、変えることのできないようになっているので尚更）
- ⇒自分の手をつけられるところから、ルールメイキングを行うことが大切
- ⇒最終的には、日本のルールを変える
- ⇒しかし、先ず「こうしたい」という事が大切

■ 憲法について

- 自分の案が有る状態だと、正しさがよくわかる
- 自分の案が無い ⇒ 他者に翻弄される
- ※自分で自分の日本国憲法を持っておくことが大切

●大日本帝国憲法

- ⇒国民全員で起草し、主体的且つ、具体的に取り組んでいた

【どういう事をしたいか】

礼式や形があるが、最初から形式に入ると狭くなる為、「どういう事をしたいか」というアイデアから始める事が重要

- ①何をしたいか
- ②絵を描いたり、羅列したり
- ③法律家が文言化する

この國をどうしたいのか、日本人としてどう生きたいのか、どう在りたいのか

【現代の憲法】

近代西洋で生まれたことの一つの形態でしかない
⇒成文化する必要があるか？
⇒形ではなく、形式はフリーでやっていく事
⇒最初、「やり方」から入ると、アイデアが狭くなる

【荒谷さん講話】

自分が余計なことを言うよりみなさんの想いを聴く方が学びが多い
それぞれの人の想いを聴いていると、俄に、ふつふつと「せんといかんな」という想いが出てくる

- しろしめす天皇陛下⇒全国民の想いを全部ひたすらに受け止める
⇒どういうお気持ちでいるか？こんかいの経験からでもどれほど素晴らしいかわかる

それだけのエネルギーが生まれてくる

たくさんの人の想いを集めて形にすれば良いものができる 今日言った事を形にするだけでも、立派なものができる

伊勢神宮

伊勢神宮があるのは、自立しているからと言われている

米、塩、器、全て自立生産している
何者にも頼らない
國からの予算も無く、自分達で全て賄っている

しかし、そこに心を寄せてくれる日本国民があって、相互の関わりの中で、伊勢神宮が伊勢神宮となっている

⇒一人であっても、会社であっても、国家であっても自立することが大切

⇒また、自立しつつ、周りの人達の心を知って、関わり合っていくことが大切

そういうものを憲法として形にしていきたい

想いを持って、受け取りながら形にしていきたい

みんなで創り上げていく場にしていきたい

この場で「産霊」という作業をやる勉強会にしたい